

件名： 令和7年度国立研究開発法人国立環境研究所 局所排気設備点検業務

番号	質問対象書類	質問対象項目	質問内容	回答
1	仕様書	項目8(2) 緊急度～することまで	ある程度基準が決まっているのでしょうか？	特段基準は設けておりませんが、優先度：高（緊急対応）・中（早期対応が望ましい）・低（経過観察・計画対応）などの3段階の優先順位を設定の上、評価理由について記載をお願いいたします。
2		項目5(4)測定項目について	抑制濃度測定は対象外としますが、その認識でよろしいでしょうか？	ご認識の通り、抑制濃度測定は対象外となります。
3			ドラフトチャンバーの制御風速測定では、吸込面に糸を張って測定するのでしょうか？	熱線式風速計（校正済み）での風速測定をお願いいたします。
4			ダクト点検で天井内にある物も足場板等を使用して点検が必要でしょうか？	ダクト点検についてはドラフトチャンバーに接続されている目視可能な範囲までとします。 ただし、制御風速が規定外の場合、ダクトおよび排風機の調査し原因の特定までお願いいたします。
5			ダクト内部点検用の点検口がある場合は、全数確認が必要でしょうか？	打音検査により異音があった場合のみ、調査をお願いいたします。
6			写真報告書(作業写真) は必要でしょうか？	完了報告書には写真報告書（作業写真）も含めてご提供をお願いいたします。
7	仕様書	項目5(5) 活性炭サンプリングについて	活性炭フィルタの型式(対象ガス：有機、アルカリ、酸性) 等を教えてください。	活性炭フィルタのサイズおよび活性炭種類はドラフトによって異なります。活性炭種類は一般ガス用（破碎状、ペレット状の2種類）を使用しております。また、フィルタの型式はございません。また、サンプリング後、採取した活性炭量を補充すること。